

※本説明書は、施工後、お施主様にお渡しください。

■取付け手順

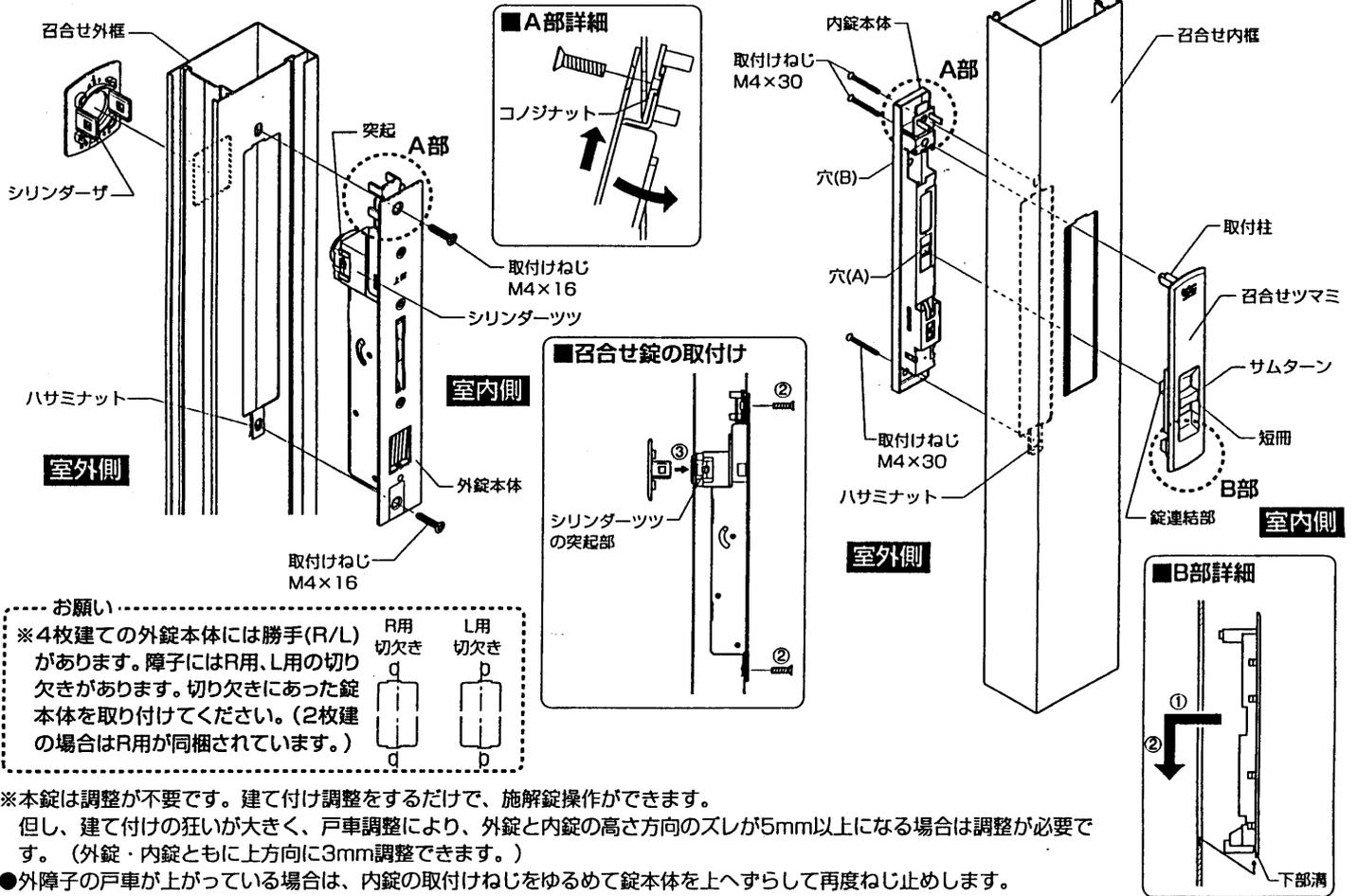
※必ず障子ストッパーを取り付ける前に召合せ錠を取り付けてください。障子のやり越しができなくなります。

【召合せ外錠の取付け】

- ①外障子の召合せ部に外錠本体を斜め下から差し込み、本体を起こします。(A部詳細参照)
- ※コノジナットは、框切り欠き内部にいらしてください。
- ②取付けねじ(M4×16)で固定します。
- ③シリンダーザを「上」刻印を上にして外錠本体のシリンダーツツの突起部にはめ込みます。
- ※上下逆に取付けると破損のおそれがあります。

【召合せ内錠の取付け】

- ①内障子の召合せ部に召合せツマミを挿入します。
- ②下部溝がアルミ型材に引っ掛かるまで下方にスライドします。(B部詳細参照)
- ③内錠本体を斜め下から差し込み、本体を起こします。(A部詳細参照)
- ※コノジナットは、框切り欠き内部にいらしてください。
- ※錠連結部が内錠本体の穴(A)に入る様に、また、召合せツマミの取付け柱先端が内錠本体の穴(B)に入る様にしてください。
- ④取付けねじ(M4×30)で固定します。
- ⑤サムターン部に差し込んである短冊を破れない様にはずします。



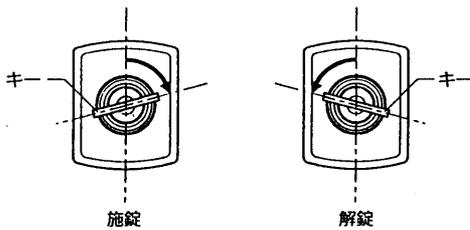
※本錠は調整が不要です。建て付け調整をするだけで、施解錠操作ができます。但し、建て付けの狂いが大きく、戸車調整により、外錠と内錠の高さ方向のスレが5mm以上になる場合は調整が必要です。(外錠・内錠ともに上方向に3mm調整できます。)

- 外障子の戸車が上がっている場合は、内錠の取付けねじをゆるめて錠本体を上へずらして再度ねじ止めます。
- 内障子の戸車が上がっている場合は、外錠を上方向に同様のやり方で調整します。

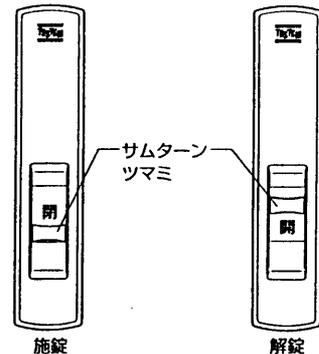
■施解錠操作方法

※本錠は安全装置付の為、障子を閉めないでサムターンの「開」「閉」操作はできません。

室外 (キー操作)



室内 (サムターンツマミ操作)



※本錠は調整不要の機構を採用しており、施錠後に障子を開ける操作をした場合、キーやサムターンツマミでの解錠操作が固くなる場合があります。その場合は、一度障子を閉め方向に動かすと操作が軽くなります。

※施錠された状態で、障子の開け方向に強い力が加わると、鎌がずれることがあります。これは、ガタつきをおさえる機構を破壊させないためのもので、異常ではありません。